

横浜市PFI事業進捗状況等確認調書 要約【進捗状況・所管局による評価など】1/3

事業No.	1	2	3	4	5
事業名	横浜市環境創造局北部汚泥資源化センター 消化ガス発電設備整備事業	横浜市瀬谷区総合庁舎及び 二ツ橋公園整備事業	川井浄水場再整備事業	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業 に伴う公益施設整備事業	横浜市南部汚泥資源化センター 下水汚泥燃料化事業
所管局課	下水道河川局 北部下水道センター	市民局 地域施設課	水道局 川井浄水場	市民局 地域施設課	下水道河川局 施設管理課
PFI事業者	株式会社bay eggs	グリーンファンリティーズ瀬谷株式会社	ウォーターネクスト横浜株式会社	アートブレックス戸塚株式会社	株式会社バイオコール横浜南部
構成企業 (一番上欄は代表企業)	月島JFEアクアソリューション株式会社 東芝インフラシステムズ株式会社	大和リース株式会社横浜支店 株式会社ハリマビシステム 株式会社共立	メタウォーター株式会社 メタウォーターサービス株式会社 三菱HCキャピタル株式会社 月島JFEアクアソリューション株式会社 東電パワーテクノロジー株式会社 東京電力エナジーパートナー株式会社	三菱HCキャピタル株式会社 鹿島建設株式会社 株式会社ハリマビシステム 株式会社共立 ココマーケティング株式会社	電源開発株式会社 月島JFEアクアソリューション株式会社 月島ジェイテクノメンテサービス株式会社 バイオコールプラントサービス株式会社
協力企業	-	鹿島建設株式会社 株式会社NTTファンリティーズ 株式会社環境デザイン研究所 株式会社JRR東日本クロスステーション	鹿島建設株式会社 株式会社東京設計事務所	株式会社東畑建築事務所 株式会社レストランモア	太平洋セメント株式会社
進捗状況(令和6年3月末時点) ●:実施済 ○:実施中 ※:未実施 -:業務対象外					
設計・建設	●	●	●	●	●
維持管理・運営	○	○	○	○	○
令和5年度の進捗状況	<p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて大きなトラブルはなく、その他不定期に小トラブルが発生したが、迅速且つ適切な処置を実施することにより、運転信頼度の向上に努めた。</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年1月に全5台(1～5号機)稼働による本格的な運営・維持管理業務を開始して以降14年が経過し、事業契約における運転期間(20年間)の70%以上を終了した。</li> <li>各エンジンの総運転時間は90,000時間を超え、2号機、4号機、5号機のF点検を実施した。</li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常業務において、安全で適正な施設管理運営を実施した。</li> <li>毎月の定例モニタリングにおいて、市の要望等や利便性や利用サービスの向上に留意した業務の報告・相談を行った。</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常点検・月次点検において、年間計画に基づき業務を実施し、予定通り維持管理業務を完了。</li> <li>PFI事業外として、2階戸籍課執務室内の防犯カメラを新設・更新、屋上緑化施工(麒麟草設置)、2階自動ドア風除室内に音声誘導装置を設置した。</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公会堂 <ul style="list-style-type: none"> <li>年間稼働率85.2%(日割り)、利用者数64,259人、利用料収入9,174千円(目標7,560千円、達成率121.3%)の実績となった。</li> <li>全体的にコロナ禍前の状況に戻ってきている。</li> <li>4月1日公会堂再開館に向けた準備作業を実施した。</li> <li>瀬谷区主催「瀬谷区人権啓発指導者全体研修」や、第13回瀬谷公会堂利用者懇談会の開催、コンプライアンス・個人情報保護法についての研修等を実施した。</li> <li>公会堂舞台設備等保守管理について、年間計画に基づき業務を実施し、予定通り完了した。</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他(自主事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食堂・売店 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者人数: 30,238名(前年度 28,026名) 2,212名増</li> <li>売上: 15,157千円(目標: 16,128千円 前年度: 13,507千円) 1人当たり売上: 501円(前年度: 481円)</li> <li>食堂について、感染防止のための体調管理、手洗いアルコール等での消毒、食材の管理を徹底、旬の食材の利用や季節のイベントを継続し、増収に努めた。</li> <li>売店については、消費期限・賞味期限のチェック体制を強化するとともに、廃棄ロス削減の為に適正発注に努めた。</li> </ul> </li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水質検査計画の作成</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運転管理業務</li> <li>保全管理業務</li> <li>水質管理業務</li> <li>災害・事故対策業務</li> <li>安全衛生管理業務</li> <li>施設公開業務</li> <li>保安業務</li> <li>清掃業務</li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月のモニタリング会議にて月次報告を実施した。</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に大きな事故、トラブル等もなく業務を遂行した。</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民文化センター <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数: 122,301人(前年度比 44,970人増)</li> <li>収入: 42,925千円(目標値: 43,378千円 前年度比 15,491千円増)</li> </ul> </li> <li>駐車場 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用台数: 130,039台(前年度比 7,411台減)</li> <li>収入: 24,473千円(目標値: 16,194千円 前年度比 1,261千円増)</li> </ul> </li> <li>食堂 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数: 20,776組(前年度比 4,531組増)</li> <li>収入: 25,307千円(目標値: 42,000千円 前年度比 3,936千円増)</li> </ul> </li> <li>多目的スペース <ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率: 96.9%(前年度比 2.8ポイント増)</li> <li>収入: 8,120千円(目標値: 5,670千円 前年度比 698千円増)</li> </ul> </li> <li>各運営業務に関し、利用者数の減少がみられるものの収入自体は改善傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響が無かった平成30年度と比較すると継続して厳しい状況にある。</li> <li>特に食堂運営に関しては、原材料費等も高騰しており、厳しい状況にある。</li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料化設備の管理運営業務</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料化設備の日常点検および定期修繕等</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水汚泥の処理 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚泥受入量: 46,804.01[t/年] (計画46,500[t/年] 計画比101%)</li> </ul> </li> <li>燃料化物の製造 <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷量: 6,673.25[t/年] (計画7,158[t/年] 計画比93%)</li> </ul> </li> <li>温室効果ガスの削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>削減量: 5,663[t-CO2/年] (計画5,800[t-CO2/年] 計画比98%)</li> </ul> </li> </ul>
所管局による評価					
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年1月に全5台(1号機～5号機)稼働による本格的な運営・維持管理業務を開始して以降14年以上が経過し、事業契約における運転期間(20年間)の70%以上を終了した。</li> <li>各エンジンの総運転時間は90,000時間を超え、2号機、4号機、5号機のF点検を実施した際に、長めの停止期間が生じたが、他号機を運転して補うことにより、通年では例年同様の運転実績を確保し、年間を通じて大きなトラブルはなく、その他不定期に小トラブルが発生したものの、迅速且つ適切な処置及び運転に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に各施設とも日常点検及び月次点検等を行っており、維持管理・運営上の大きな問題はない。</li> <li>公会堂の給湯室のお湯が出ない等の突発的なトラブルについても、部品を交換する等の対応が行われたうえで、定例モニタリング会議等を通して市及びSPCIに共有されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画のとおり、浄水施設維持管理業務を問題なく実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設とも日常点検及び月次点検等を行い、全体的に維持管理・運営上の大きな問題はない。</li> <li>年間を通して、前年度と比較して区民文化センター・食堂・多目的スペースにおける利用者数及び収入は向上したが、新型コロナウイルス感染症の影響が無かった平成30年度と比較すると利用者及び収入は、当時の水準に回復していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年4月より施設の管理運営を予定通り開始しており、令和5年度は、年間汚泥処理量46,804.01tを達成した。</li> </ul>
財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期は本格的な営業運転の14期目となるが、良好な事業運営がなされている。</li> <li>前年度と比較し、売上高および利益は増加し、良好な実績をあげている。</li> <li>事業は順調に推移し、良好な財務状況にあるといえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度計算書類等(令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第15期事業年度)に関して確認を行った結果、特に大きな問題はなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務状況は概ね計画どおり安定的に推移しており、財務上の問題、あるいは今後の経営に影響を及ぼすと思われる懸念や疑義は発生していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度計算書類等(令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第14期事業年度)に関して、確認を行った結果、特に大きな問題はなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関との直接協定に基づいて財務チェックを行っており、問題がないことを確認している。</li> </ul>

横浜市PFI事業進捗状況等確認調書 要約【進捗状況・所管局による評価など】2/3

事業No.	6	7	8	9	10
事業名	みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設整備事業	横浜市北部汚泥資源化センター 汚泥処理・有効利用事業	みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設運営事業	横浜文化体育館再整備事業	上郷・森の家改修運営事業
所管局課	にぎわいスポーツ文化局 MICE振興課	下水道河川局 施設管理課	にぎわいスポーツ文化局 MICE振興課	にぎわいスポーツ文化局 スポーツ振興課	市民局 地域施設課
PFI事業者	株式会社横浜グローバルMICE	株式会社横浜Bay Link	株式会社横浜国際平和会議場	株式会社YOKOHAMA文体	上郷フォレストPFI株式会社
構成企業 (一番上欄は代表企業)	株式会社竹中工務店 株式会社小俣組 日本管財株式会社 三菱HCキャピタル株式会社	月島JFEアクアソリューション株式会社 奥多摩工業株式会社 株式会社デイ・シー 東芝インフラシステムズ株式会社 奥多摩建設工業株式会社	-	株式会社電通 株式会社フジタ、大成建設株式会社 日本管財株式会社、公益財団法人横浜市スポーツ協会 株式会社梓設計、川本工業株式会社 馬淵建設株式会社、株式会社渡辺組 スターツコーポレーション株式会社	株式会社紅梅組 フロンティアコンストラクション&パートナーズ株式会社 株式会社R.project 石井造園株式会社
協力企業	株式会社佐藤総合計画	横浜改良土センター株式会社	-	株式会社アーキボックス、株式会社ハリマビシステム 株式会社電通東日本、株式会社テレビ神奈川 株式会社神奈川新聞社、横浜エフエム放送株式会社 株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社横浜アリーナ	相鉄企業株式会社 株式会社デザイン森 エバラ食品工業株式会社
進捗状況(令和6年3月末時点) ●:実施済 ○:実施中 ※:未実施 ー:業務対象外					
設計・建設	●	●	ー	○	●
維持管理・運営	○	○	○	○	○
令和5年度の進捗状況	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総括マネジメント業務</li> <li>・総務・経理業務</li> <li>・事業評価業務</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物保守管理業務</li> <li>・建築設備保守管理業務</li> <li>・植栽維持管理業務</li> <li>・修繕業務</li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設焼却炉、汚泥燃料化施設、改良土プラントの管理運営業務</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設焼却炉、汚泥燃料化施設、改良土プラントの日常点検および定期修繕等</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市から供給された消化汚泥等の処理(業務計画:117,032t/年)</li> <li>・既設焼却炉および汚泥燃料化施設において、年間総計116,007.370t</li> <li>・第1四半期(28,278.830t)、第2四半期(29,137.310t)、第3四半期(28,204.690t)、第4四半期(30,386.540t)</li> <li>・温室効果ガスの削減 削減量:8.072[t-CO2/年] (計画8,164[t-CO2/年] 計画比99%)</li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統括マネジメント業務</li> <li>・総務・経理業務</li> <li>・事業評価業務</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物保守管理業務</li> <li>・建築設備保守管理業務</li> <li>・外構施設保守管理業務</li> <li>・清掃業務</li> <li>・環境衛生(廃棄物処理を含む)業務</li> <li>・什器備品保守管理業務</li> <li>・警備業務</li> <li>・修繕業務</li> <li>・周辺基盤施設の維持管理業務</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営業務 催事件数 :159件 実質日数稼働率 :49% 参加者数 :585,000人</li> <li>・広報/誘致業務</li> <li>・什器備品の貸出業務</li> <li>・駐車場運営業務</li> <li>・安全管理・防災・急事態等対応業務</li> <li>・行政・周辺施設との連携業務</li> <li>・MICE運営事業期間終了時の引継業務</li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統括管理責任者が市との協議窓口となり、各構成員及び協力企業を調整、個別業務の業務責任者をはじめとした業務従事者の管理監督を行い、関係者との連携を密にとりながら、円滑な事業の推進に向けた調整を確実に実施した。</li> <li>・予算作成、経費の執行・管理及び決算管理を実施した。</li> <li>・個別業務に関するセルフモニタリングを実施した。</li> </ul> <p>【設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜武道館(サブアリーナ)については、平成30年設計業務終了、令和2年7月供用開始。</li> <li>・横浜BUNTAI(メインアリーナ)については、令和4年2月終了。</li> </ul> <p>【建設業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜BUNTAI(メインアリーナ)について計画通り事業進捗し、令和6年1月末竣工引渡し、同年4月供用開始。</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜武道館(サブアリーナ)について計画通り実施。</li> <li>・横浜BUNTAI(メインアリーナ)については令和6年2月より開始。</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜武道館(サブアリーナ) 利用料金収入:190,069,262円(税抜) (計画値:184,623,776円(税抜き)) 利用者数 :670,273人 (計画値:650,000人)</li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会議の開催</li> <li>・業務計画書、報告書の提出</li> <li>・決算業務、事業評価業務</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各設備点検・保守業務 ・6月、9月、2月、3月に緊急対応の倒木処理を実施。</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上郷・森の家 年間利用宿泊数:33,710名 (計画:31,926名 前年度数:27,695名)</li> <li>・アウトドアフィールド(キャンプ場運営) キャンプ宿泊数:1,133名 (計画:1,400名 前年度数:1,028名) 日帰りBBQ利用者数:2,784名 (計画:4,400名 前年度数:3,232名)</li> <li>●飲食提供業務 カフェテリア年間売上:68,256,770円 (計画:59,000,000円 前年度:52,010,361円) kokko年間売上:566,262円 (自肅休業:4月~7月) (計画:3,930,000円 前年度:1,110,499円)</li> <li>・広報、営業等マーケティング実施(コロナ禍に合わせて対応)</li> <li>・利用者モニタリング実施</li> </ul>
所管局による評価					
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りの点検と突発的な不具合への対応を行うことにより、施設の機能及び性能を維持しており、大きな問題はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度末に設計・建設業務が完了したことを受け、令和4年度より、汚泥を処理する設備構成が最終的な形態になり、管理・運営業務が本格的に始動している。</li> <li>・令和5年度は、年間汚泥処理量約116,007.37tを達成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りの点検と突発的な不具合への対応を行うことにより、施設の機能及び性能を維持しており、大きな問題はない。</li> <li>・予約件数も順調に伸び、積極的なセールスによりMICE開催に結び付けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜BUNTAIは令和6年1月に竣工し、3月には開館記念式典を実施するなど、4月の開業に向けて予定通り業務進捗している。</li> <li>・民間収益施設についても、横浜BUNTAI敷地内のホテルについては令和6年4月開業に向けて予定通り業務進捗している。横浜武道館敷地内の民間収益施設についても、問題なく関係者との調整が行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までと比較し、体験学習の利用に加え一般利用の宿泊者数も増加しているため、運営上の大きな問題はない。</li> <li>・令和3年度のレジオネラ菌検出及び令和4年度のアレルギー食品誤提供による要求水準未達事項については、市・PFI事業者ともに重大な事象であると認識し、あらかじめ双方で密に連携を取りながらモニタリングの徹底を図り、再発防止に取り組んでいる。</li> <li>・再発防止の取組の一環として、市による定例モニタリングにおいては、アレルギー対応に関する報告を含めた施設の業務実施体制や管理体制についても確認するとともに、必要に応じて現場視察を実施し、業務の実施状況を直接確認することで、適正かつ確実な公共サービスが提供されるようモニタリングしている。</li> <li>・このほか、スタッフ入替時等にも確実に業務の引継ぎができるよう、PFI事業者は新人スタッフへの研修を徹底するとともに、市は研修が適切に実施されるようPFI事業者へ指導し、スタッフの入替状況についても報告を求めて確認するなど、市・PFI事業者の双方で業務改善に取り組んでいる。</li> <li>・これらをふまえ、引き続き、適正かつ確実な公共サービスが提供されるよう、モニタリングの徹底を図るとともに、業務改善に取り組む。</li> </ul>
財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関との直接協定に基づいて財務チェックを行っており、問題がないことを確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関との直接協定に基づいて財務チェックを行っており、問題がないことを確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で厳しい状況の2020年度に運営開始した当該事業であったが、令和4年度と比較し売上高が増加し、良好な実績をあげている。</li> <li>・当該事業者が管理運営する他の施設も含め、安心安全な開催環境の提供、積極的なセールス、ハイブリッド開催に対応する配信サービス提供等の経営努力により、会社としても開業以来初の売上高100億円超えを達成し、2期連続の黒字決算を達成した。以上から、当面の事業活動の継続性に懸念はないと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の事業活動の継続性に懸念はないと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の継続性に問題はない。</li> </ul>

事業No.	11	12	13
事業名	みなとみらい公共駐車場運営事業	本牧市民プール再整備事業	環状3号線(杉田港南台地区)電線共同溝PFI事業
所管局課	にぎわいスポーツ文化局 MICE振興課	にぎわいスポーツ文化局 スポーツ振興課	道路局 建設課
PFI事業者	株式会社横浜国際平和会議場	本牧ベイパーク株式会社	—
構成企業 (一番上欄は代表企業)	—	馬淵建設株式会社 フロンティアコンストラクション&パートナーズ株式会社 株式会社ヤマト 株式会社アメニティシステム	東電タウンプランニング株式会社 株式会社関電工 日本工営株式会社
協力企業	—	パシフィックコンサルタンツ株式会社 株式会社田辺設計 扶桑電機株式会社 株式会社ヒーロー	—
進捗状況(令和6年3月末時点) ●:実施済 ○:実施中 ※:未実施 —:業務対象外			
設計・建設	—	●	○
維持管理・運営	○	○	※
令和6年度の進捗状況	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統括管理業務</li> <li>・総務/経理業務</li> <li>・事業評価業務</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物保守管理業務</li> <li>・建築設備保守管理業務</li> <li>・環境管理業務</li> <li>・清掃業務</li> <li>・什器備品管理業務</li> <li>・修繕業務</li> <li>・施設台帳及び図面の管理業務</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用規則に関する業務</li> <li>・駐車場料金徴収業務</li> <li>・誘導・案内業務</li> <li>・行政・周辺施設との連携業務</li> <li>・保安警備及び防災業務</li> <li>・利便施設等管理業務</li> <li>・広報業務</li> <li>・自主事業</li> <li>・本事業期間終了時の引継業務</li> <li>・その他業務</li> </ul> <p>・駐車場利用台数: 323,910台(自動二輪含む)</p>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の関係者協議会を中心に、事業工程表、資金収支計画、セルフモニタリング計画書等に基づき、経営管理、財務管理、業務管理の進捗の都度確認と開業に向けての体制構築を行った。</li> </ul> <p>【設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・工事監理業務</li> </ul> <p>【建設業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年4月～6月に、ウォータースライダー設置工事、管理棟内装工事、外構工事、各種検査を実施のうえ、竣工。施設引き渡し。</li> <li>・R6年3月 INV機器等取付が完了。</li> </ul> <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プールサイド等の塗装補修作業、除草作業、高木支柱破損修理、看板バナー貼り換え等を適宜実施した。</li> </ul> <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の運営(屋外プール) 利用者数:118,887人(当初想定:72,999人 達成率:約163%)</li> </ul>	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調整マネジメント業務(設計段階)</li> <li>・発注者会議の開催(毎月1回):業務進捗状況報告等</li> <li>・企業者調整会議の開催</li> <li>・地元連絡会の開催</li> <li>・第三者モニタリングの実施</li> </ul> <p>【設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量業務</li> <li>・設計業務</li> </ul>
所管局による評価			
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな問題なく、運営を実施している。</li> <li>・計画通りの点検と突発的な不具合や事故への必要に応じた修繕等を行うことにより、施設の機能及び性能を維持しており、大きな問題はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年7月に供用開始し、引き続き順調に稼働している。夏期以外の営業については、付帯事業者においてバーベキュー・キャンプ等の事業が実施されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画とおり、調査・設計業務が完了し、本体工事着手に向けて進められている。</li> </ul>
財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度と比較し売上高が増加し、良好な実績をあげている。</li> <li>・当該事業者が管理運営する他の施設も含め、安心安全な開催環境の提供、積極的なセールス、ハイブリッド開催に対応する配信サービス提供等の経営努力により、会社としても開業以来初の売上高100億円超えを達成し、2期連続の黒字決算を達成した。以上から、当面の事業活動の継続性に懸念はないと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の事業活動の継続性に懸念はないと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題がなく事業を進められている。</li> </ul>